

対象年齢2～4歳

SmartAngel

三輪車

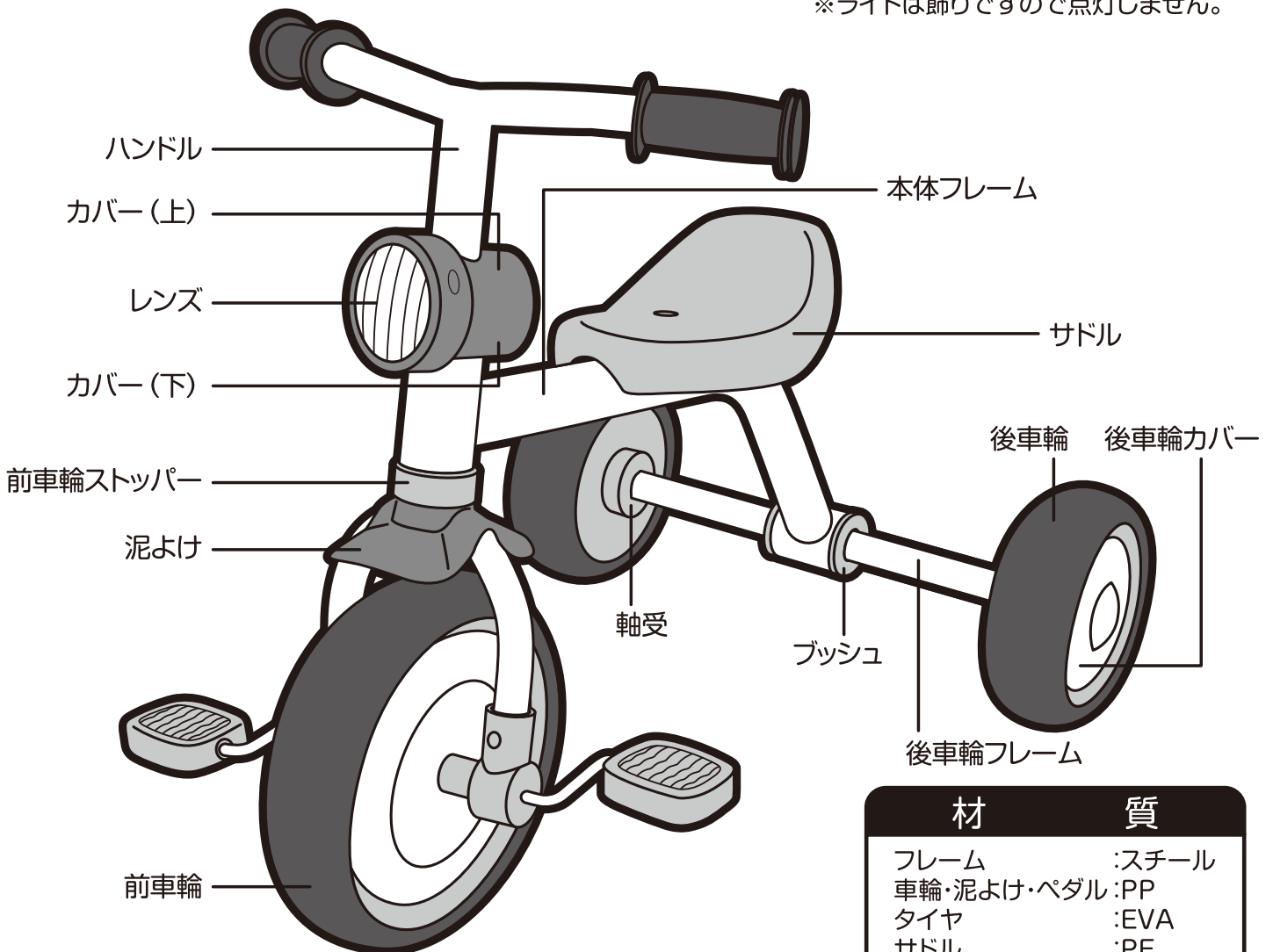
funny3

[取扱説明書]

この度はお買い上げいただきありがとうございます。
安全に、正しくご使用していただくために、説明書をよく
お読みください。又、この説明書は必ず保管してください。

1.各部の名称

※ライトは飾りですので点灯しません。

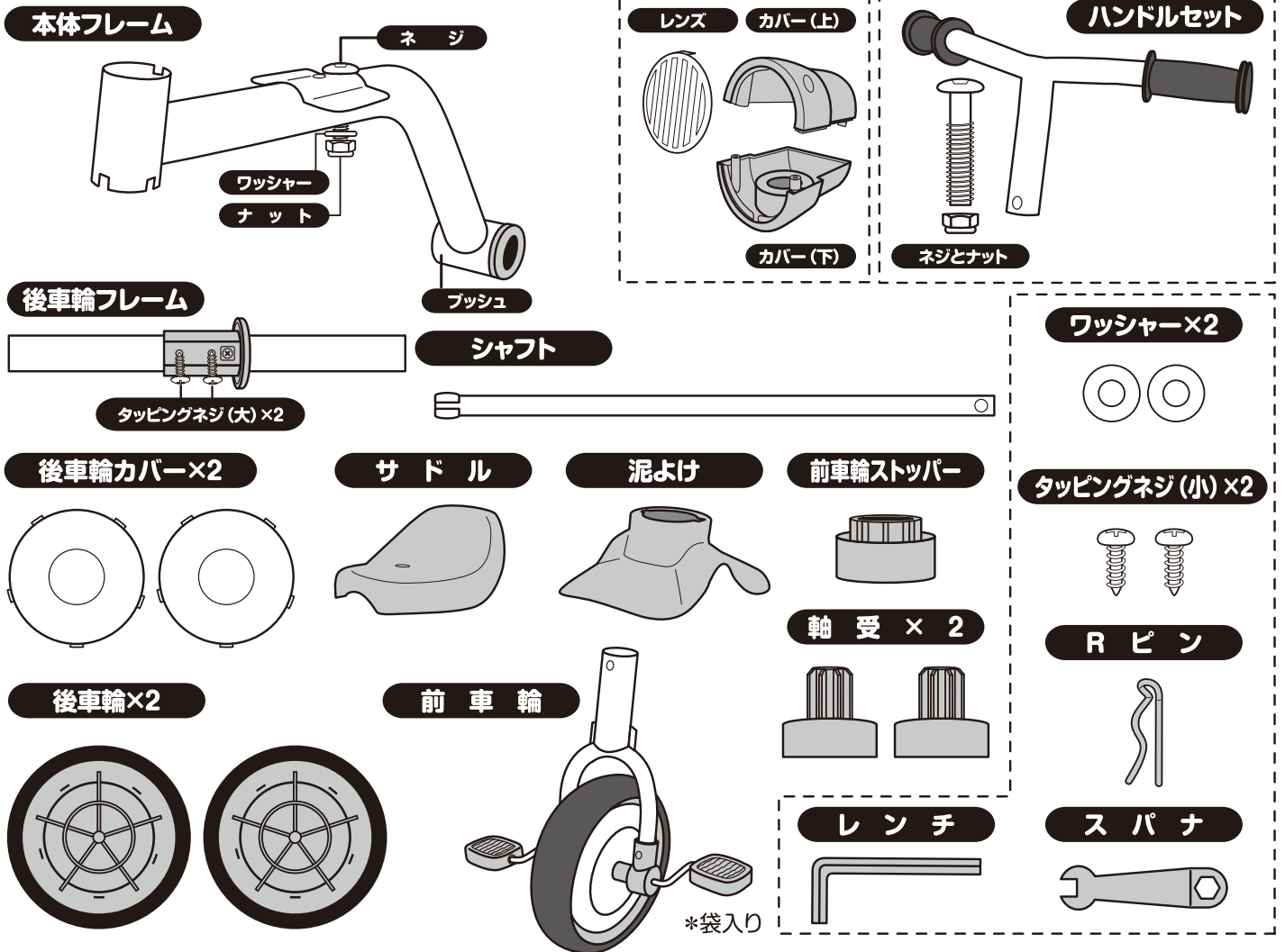


材 質

フレーム	:スチール
車輪・泥よけ・ペダル	:PP
タイヤ	:EVA
サドル	:PE
ハンドクリップ	:TPE

2. 部品内容

組立前に部品の名称と数量を確認してください。
※組立ネジは各パーツにあらかじめついています。

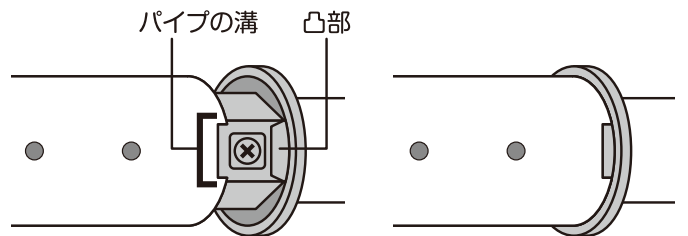


3. 組立方法

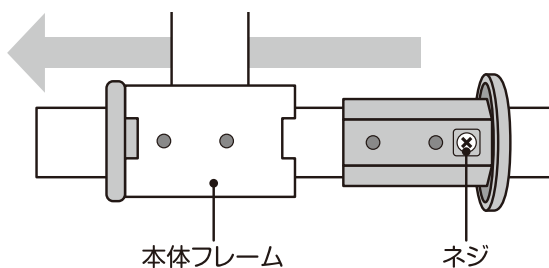
STEP.1 本体フレームと後車輪フレームの組立

- ① タッピングネジ (大) 2個を後車輪フレームから外します。
- ② 本体フレームの後側のパイプに後車輪フレームを右から入れます。

凸部をパイプの溝に合わせます。



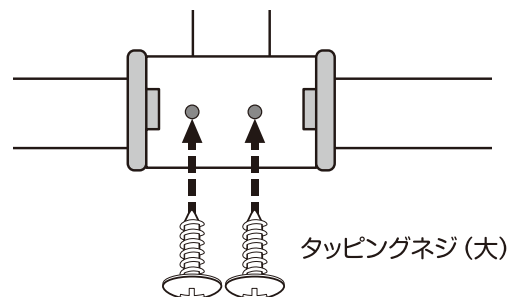
※穴の位置が合うよう奥までしっかり差し込みます。
※パイプを前後にひねりながら押し込むと入りやすくなります。



このときネジが付いている部分を本体フレームの穴方向に向けるようにします。

- ③ 本体フレームが確実にハマりネジ穴の位置が正しく取り付けられていることを確認し、①で取り外したタッピングネジ (大) を2個取り付けます。

※ネジを締める途中で抵抗が大きくなりますがフレームにネジ込むためですので、最後までしっかり締めてください。

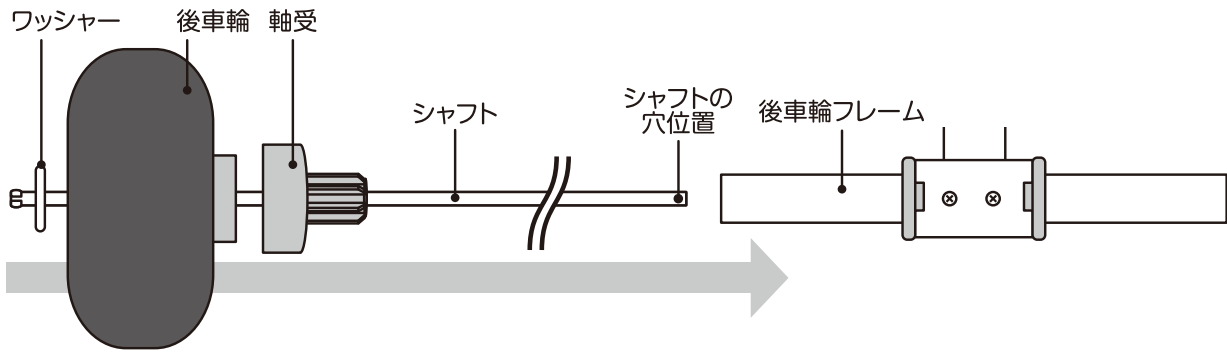


STEP.2

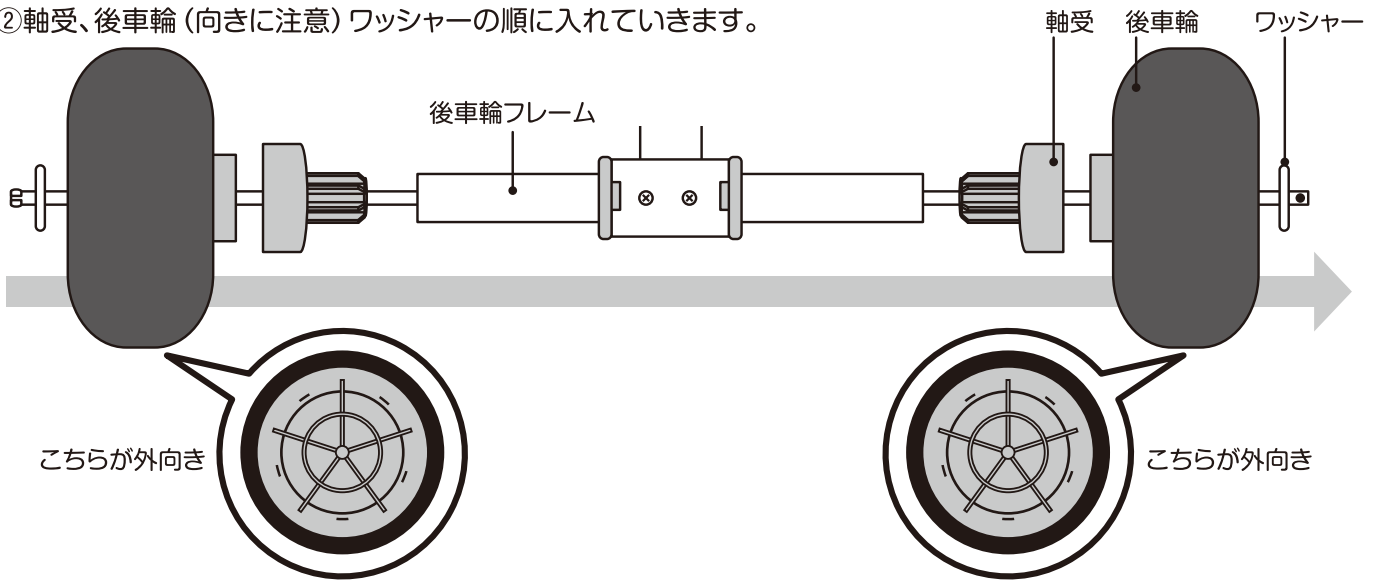
後車輪の組立

①シャフトの穴が開いている方向からワッシャー、後車輪、軸受の順に入れていき、STEP.1で組立てた後車輪フレームに通します。

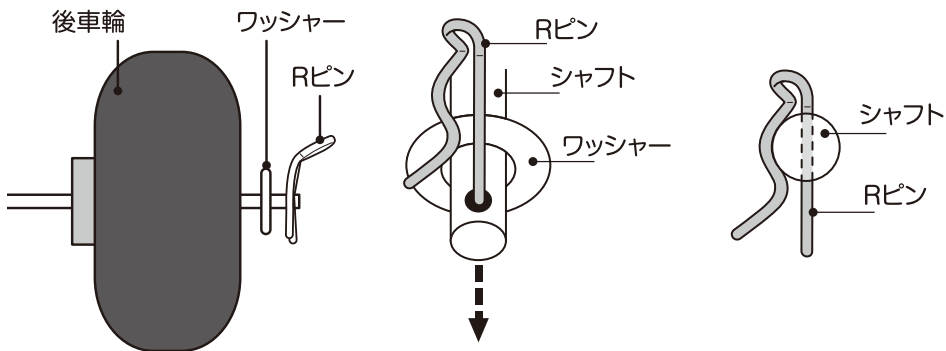
※軸受は後車輪フレームにねじって奥までいれます。



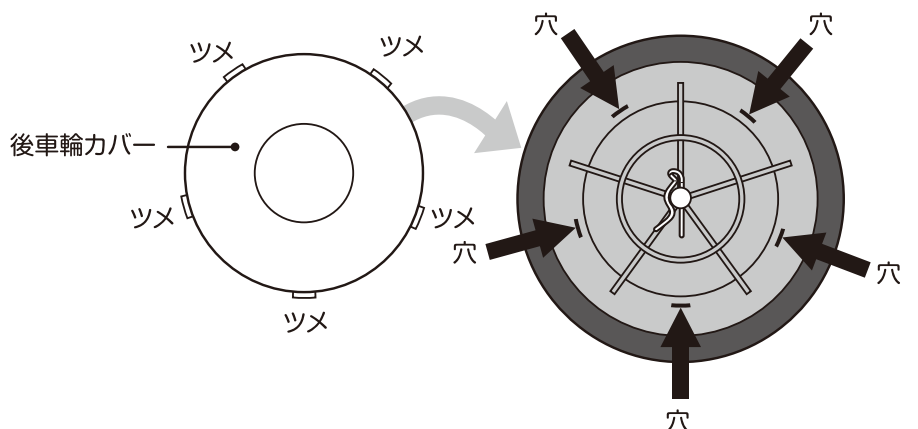
②軸受、後車輪 (向きに注意) ワッシャーの順に入れていきます。



③通したシャフトの先端の穴にRピンを差し込みます。

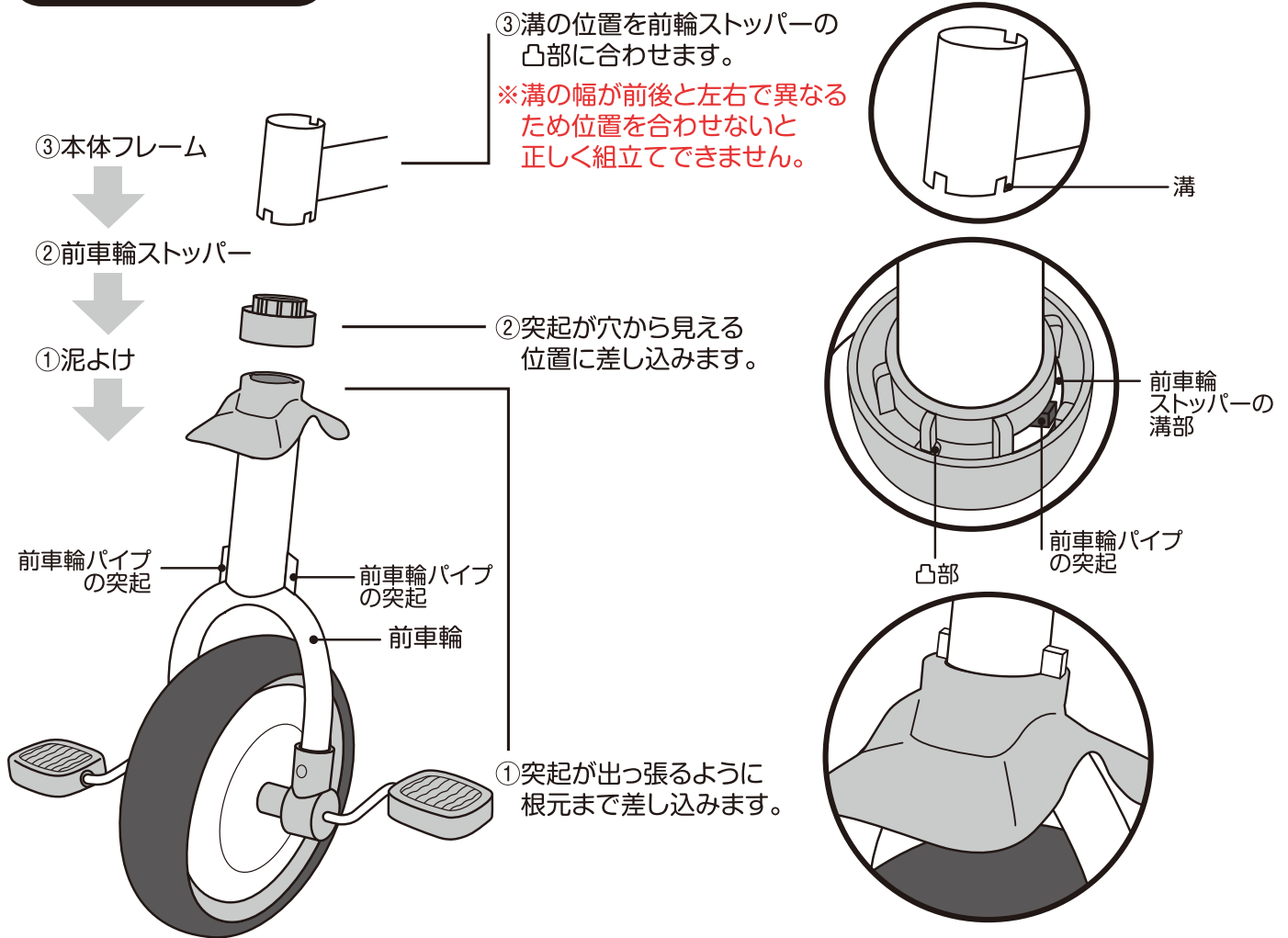


④後車輪カバーを、爪と穴の位置を合わせて取り付けます。パチンと音がして、爪が穴に入ったことを確認してください。



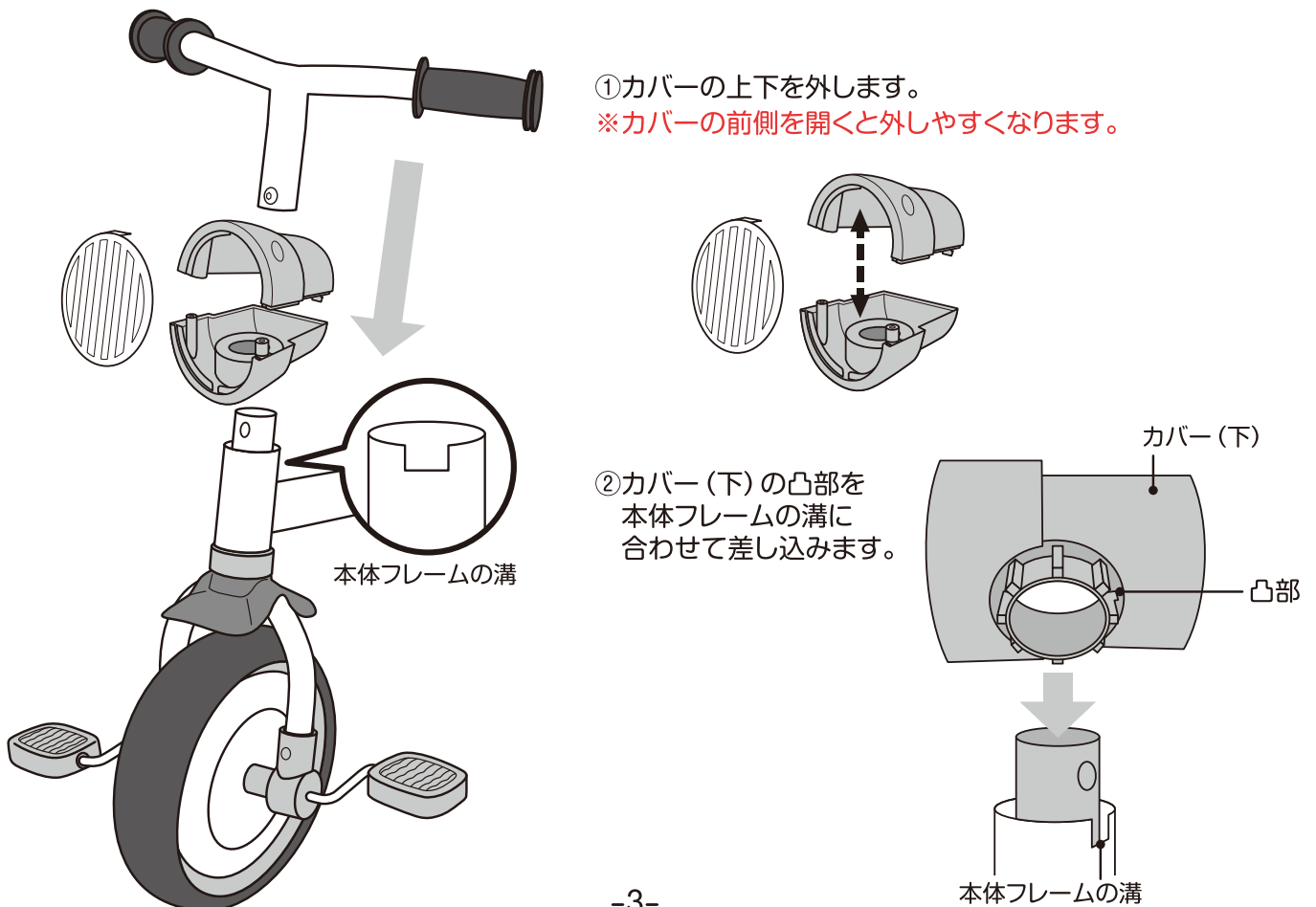
STEP.3

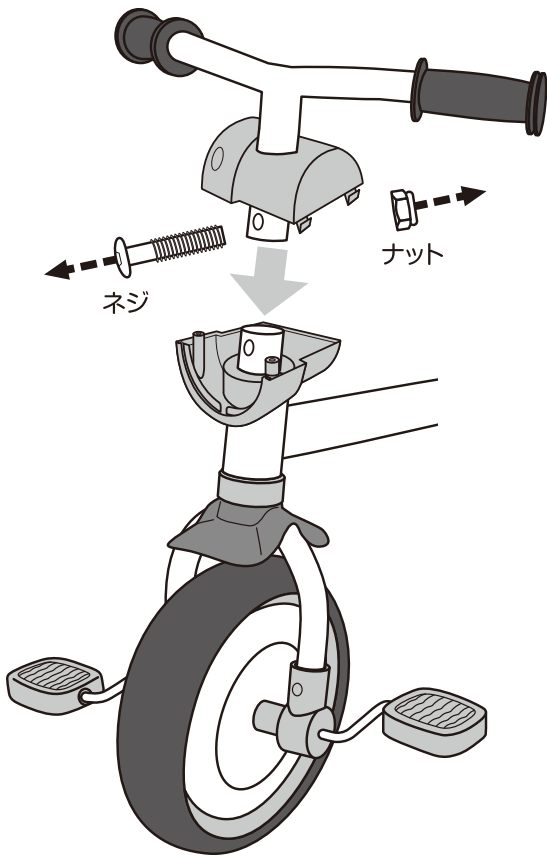
前車輪の組立



STEP.4

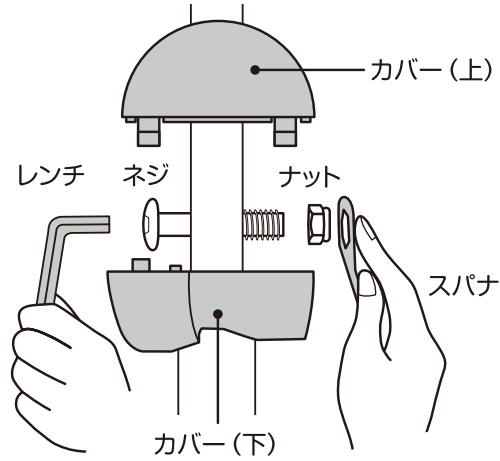
ハンドルの組立





③ハンドルに付いているネジとナットを外します。カバー（上）をハンドルに差し込んでおきハンドルを本体フレームに差し込みます。

④ネジを前側から通しナットを付けレンチとスパナで両側から締め付けます。

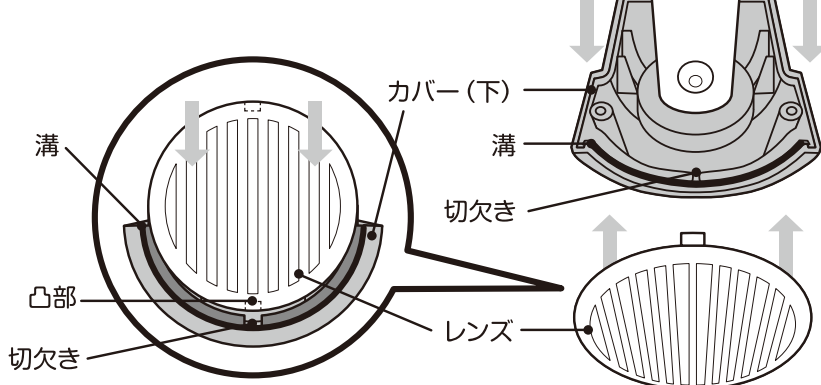


※レンチが回しにくくなりますのでネジは前側から通してください。

※カバー（上）は横向きにしておくと作業しやすくなります。

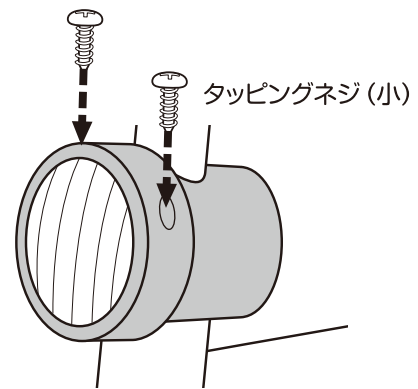
※ネジを締める途中で抵抗が大きくなりますが緩み止めのため、不良ではありません。

⑤レンズをカバー（下）の溝に差し込みます。レンズの凸部をカバー（下）の切欠きにはめ込み向きを合わせてください。



⑥カバー（上）の溝をレンズに合わせながら被せタッピングネジ（小）で固定します。

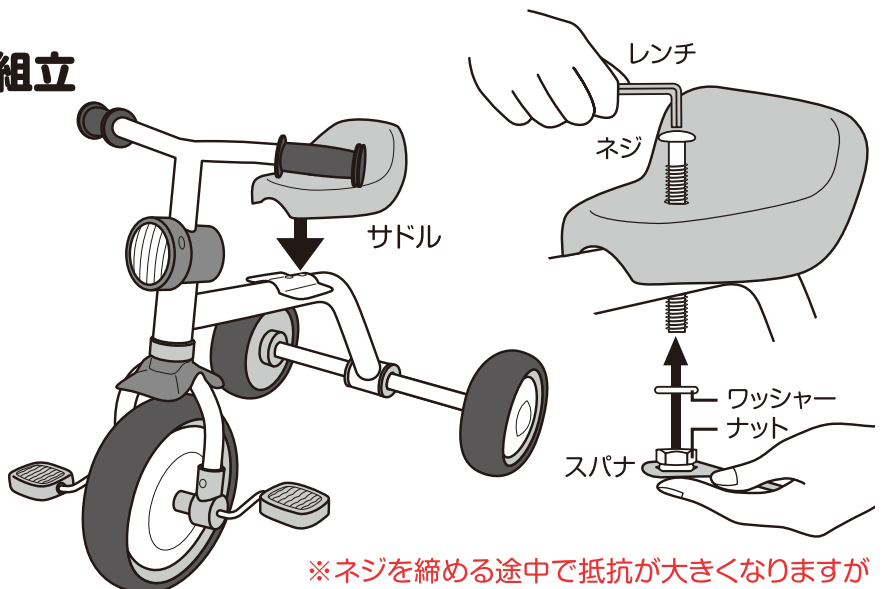
※カバー（上）の後ろ側の爪がパチンと音がしてしっかりはまったことを確認してください。



STEP.5 サドルの組立

①本体フレームからネジを外します。サドルを本体フレームに載せ、上の穴からサドル用ネジを入れます。本体フレームの下側から、ワッシャー、ナットの順に取り付けレンチとスパナで両側から締め付けます。サドルを取り付ける穴は、前後2つありますのでお子様の成長に合わせて取り付けてください。

各部に緩みやがたつきが無いことを確認して完成です。



※ネジを締める途中で抵抗が大きくなりますが緩み止めのため、不良ではありません。

安全にご使用いただくために

製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ① 幼児が使用する際には、保護者が使用上の注意を指導し、保護者の下で遊ばせてください。
- ② 三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、及びペダルを踏み込んだときに転倒する危険がありますので大人が付き添ってください。
- ③ お子様の足が地面及びペダルに確実に付くことを確認してからご使用ください。
- ④ お子様はサドルに座ったとき両足が地面に確実に付かない状態で使用しますと転倒する危険がありますので大人が付き添ってください。 ください。公道では使用しないでください。
- ⑤ 二人乗りなどの危険な乗り方はしないでください。
- ⑥ お子様はサドルやフレームの上に立ち上がらないよう注意してください。
- ⑦ 車輪の周囲や回転する部分に手や指、足などを入れないでください。
- ⑧ 坂道での使用や高速走行は避けてください。
- ⑨ 交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性あります。

- ① 使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。
- ② 長期間での使用でネジが緩むことがあります。お手数でも締め直してください。
- ③ 故障及び破損がある場合は使用しないでください。
- ④ 使用後は直射日光の当たらないところに保管し、雨ざらしにしないでください。
- ⑤ 火気のある場所、高温の場所には近づけないでください。
- ⑥ 用途以外での使用はしないでください。
- ⑦ 小さな部品があり誤飲の危険性があります。組み立て・部品の取り外し作業はお子様がおそばにいない状態で行ってください。

日頃のお手入れ

- ① 本体や車輪に付いた泥などの汚れは、柔らかいブラシや布で拭いて落としてください。
- ② ひどい汚れは、布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませてぬぐったあと乾いた布でよく拭いてください。